

2023年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名 長野保育所

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	A
評価の根拠 理解はしているが、保育目標の実践については、現在大切にしていきたい保育を模索中。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	B
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 子どもの情報を共有して必要な配慮を行っているが、子どもの意欲を引き出し、遊びに発展するよう環境構成と子どもへの関わりを配慮して保育している。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 子どもの体調変化に気づき、早めに保護者との連携を図ったこともあり、感染症が広まらなかった。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	A
評価の根拠 感染症の状況をみながら、適切に計画した。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	B
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	B
評価の根拠 食文化はわかりやすく工夫しているが、保育室の子ども食事状況や保育士とのコミュニケーションが十分に取れなかった。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	A
評価の根拠 会議によっては時間かかる会議もあるが、何か問題が生じた際には会議を行い対応した。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	B	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠 災害時に適応できるマニュアルが、直ぐに確認できる掲示や冊子が各クラスにあると良い。		
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	B	A
② 研修報告を園内で実施している	B	A
評価の根拠 研修報告を報告したり回覧している。また、研修をもとに勉強会を設け、保育の質向上に努めている。		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B	A
評価の根拠 個人情報等は、適切に特定の場所で徹底管理している。		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
評価の根拠 安全点検を定期的に行い、不備があればその都度修理し、掲示板を有効活用できている。		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	B	A
評価の根拠 子どもの送迎の時間に合わせて、保護者への子どもの様子や相談の話しをする機会を設け、家庭と一緒に支援できるよう心がけている。		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	A
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 コロナ禍が落ち着き中高生や地域の方々と交流できる機会を設けていく。子育て相談の内容を共有することで、子育て未経験保育士も学べる機会となっている。挨拶は、一部の職員意識に温度差がある。		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねと等で、情報発信に努めている	A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	B	A
評価の根拠 コドモン、掲示、インスタ等様々な、媒介で発信している。		
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A
評価の根拠 人権擁護のセルフチェックで、年2回行うことで振り返りの意識づけが出来る。		
15. 総括		
年間をおよしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。		
○前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点		
・食育クッキング等も少しずつ進めてきているので、継続していきたい。・情報提供では、Instagramもはじめた。		
・こまめな話し合いの会議を持つことで、子ども理解の対応共有ができ対応できた。		
・保育の中で、自分で気づき、行動できるような保育をすることで、自主的に行動ができるようになってきた。		
○課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点		
・草花の自然物の取り扱いや保育への活かし方を工夫する。		
・給食室との食料観察の機会を増やしたり、子どもたちのやり取りや保育士との連携を密にしていけると良い。		
・子どもが意欲的に楽しめるよう遊びを充実させたい。・季節の草花を園庭に充実させたい。		
・安全面から、制限してしまうのではなく代替案を考えていく。		